

えずこホール イベント案内



世界最速最強のジブシー・プラス・バンドがえずこホールにやってくる。カンヌ国際映画祭における最高賞受賞の「アンダーグラウンド」の作中曲で一躍注目され、フジロックにも出演。どんな音楽も自分たちのスタイルで演奏し、一度聴いたら忘れられない強烈な個性、疾走感、壮快感に満ちたステージをお楽しみに！蔵王のアトリエデリスも出店。お食事も併せてお楽しみください。

7/2 [火] 19:00開演
TICKET 全席指定
一般 4,000円
U-24 2,000円

えずこ男声合唱団 定期コンサート14th

6/9 [日] 13:30開演
大ホール 入場無料
予定曲目
花嫁、空とぶうさぎ他

えずこギターアンサンブル 第17回定期演奏会 ～ギターでめぐる世界の旅～

6/23 [日] 14:00開演
大ホール 入場無料
予定曲目 ロシア民謡メドレー
エスパーニャ・カーニ(スペイン)

みんなおいでよ えずっこひろば ～親子で楽しむ遊びの場所～

6/11 [火] 10:00～12:00
参加：無料
会場：ホワイエ
(出入り自由/申し込みの必要はありません)

お問い合わせ TEL 0224-52-3004
info@ezuko.com
URL http://www.ezuko.com/
えずこホール
仙南芸術文化センター
〒989-1267 柴田郡大河原町字小島1-1

学び舎通信

町内小中学校の情報を
毎月お届けします

- 一 あいさつ・返事をしっかりとる
- 二 無言清掃ぞうきんをきれいにかける
- 三 くつをきれいにそろえる
- 四 人の話をよく聞く
- 五 自分の命は自分で守る

頑張っているクラスには、これからもポプラのようにぐんぐん伸びるようにという願いを込めて、児童会から「ノービル賞」が贈られます。

五月十四日(火)の音楽朝会后に今年度初めてのノービル賞が、「毎日くつをきれいにそろえていた」六年一組に贈られました。

さあ、次にノービル賞が贈られるのはどのクラスでしょうか。今から楽しみですよ。



金ヶ瀬
小学校

「ノービル賞」

金ヶ瀬小学校ではポプラ児童会が中心になって「ポプラつ子 五つのあたりまえ」に取り組んでいます。



さくら並木

人生100年時代をどう生きるか

～志、アイデンティティ、スキルがキーワード～

大河原町長 齋 清志

最近、人生100年時代という言葉をよく耳にするようになりまし。これは『ライフ・シフト』の著者の一人である英国のリンダ・グラットン教授の提言とありました。人生100年時代とは、『寿命が(100歳前後まで)今後延びていくにあたって、国・組織・個人がライフコースの見直しを迫られている』という解説でした。

皆さんご存知のように、日本は健康寿命が世界一です。日本人の寿命は延び続け、今の小学6年生は107歳まで生きる確率が50%とされています。従来の『教育を受ける』『仕事をし』『引退して余生を過ごす』の3段階のライフコースでは、人々はこの超長寿社会を活力を持ち続けて生きることが困難です。しかし、老後の生活のために『仕事』の期間だけ長くなると受け止めてはモチベーションが下がります。

そして、人生100年時代は新しい社会構造や価値観が生まれなければならぬことを示唆しています。政府は『人づくり革命』を掲げる人生100年時代構想会議を開催し、将来を見据えた経済・社会システムを実現するための政策のブランドデザインを検討を始めています。しかし、現代社会を生きる若

い人たちは、人生100年時代を迎え大きく変革する必要に迫られている意識を持っているのでしょうか。

私の本音としては、『ボーッと生きていては、〇〇ちゃんに叱られる』ことになりはしないか心配です。

私もこの『ライフ・シフト』を読んで認識不足を痛感させられました。この問題は、個人レベルを超えた国家的、世界的レベルの取り組みべき社会問題であるのは当然です。その上で、人生100年時代という超長寿社会における働き方や生き方をどのように変化させ、そして自分の人生設計や構想に如何につなげるかに思いを馳せる必要があったのです。

決して人事ではありません。北海道開拓の父クラーク博士は、『少年よ、大志を抱け』の言葉を残しました。しかし、人生100年時代では幾つになっても志を持って生きることが大切です。例えば70歳超まで働くことを想定し、独立した立場で職業による活躍の場を持つことができる(アイデンティティ)ことも重要です。そして、人的ネットワークといった無形のものも含めて専門的な知識や技能(スキ



ル)を持ち、競争と差別化を図ることは極めて有効な生き方につながるでしょう。

人生100年時代のキーワードは、志、アイデンティティ、スキルの3つになるものと受け止めました。

そして、これらのキーワードを活かすために、お金では得られない良質な人的ネットワークをはじめ暖かい家族の絆など、無形の財産がより求められるのではないのでしょうか。

現実となりつつある超長寿社会について思いを馳せるのに遅きに失することがないように願う次第です。

(5月21日記)

暗唱大好き

大河原
南小学校



「今年も暗唱をがんばります！」大河原南小学校では、今年度も四月から暗唱読本「寿限無」の暗唱練習が始まりました。朝の時間や授業中には、暗唱に取り組む大きな声が各学年の教室から聞こえてきます。

今回取材した二年生(32名)では、「暗唱読本・寿限無チャレンジカード」を用い、自分のペースで暗唱練習をして先生に聞いてもらい、すらすらと上手に暗唱して合格すると、シールを貼ることが出来ます。子供たちは、合格すると大喜びで、新しい暗唱の練習に意欲的に取り組んでいます。カードを見せてもらったところ、既に全体の半分近く合格している子もいました。

これから暗唱朝会も始まるので、全校児童の前での発表を励みに、毎日の暗唱練習をますますがんばっていくことでしょうか。